

科目名	特別演習				担当教員名	飯干 泰彦、石松 一真、今本 尚子、宇田 淳、大石 雅子、岡 耕平、清水 史恵、田中 伸、平河 勝美、廣瀬 稔、別所 一彦、吉本 圭一、和佐 勝史、和中 明生、榊原 修平、戸田 満秋、萩原 邦子、石原 啓之
該当DP	3	単位数	2単位	特別演習	配当年次	1年次・第2セメスター(通期) 2年次・第3セメスター(通期)
曜日・時限	指導教員が指示する			教室	原則として各教員の研究室を使用する	
授業概要	<p>主指導教員、副指導教員の指導のもと、各学生に課せられた研究課題を科学的に探求し、論文作成までつなげる能力を涵養する。研究テーマの設定、文献の検索、研究計画書の作成、データ収集と分析、論文作成の基礎、などの課程を指導する。</p>					
到達目標	<p>1) 研究テーマを設定できる。 2) 文献の検索、収集、要約ができる。 3) 適切な研究手法を調査し、選択できる。 4) 研究倫理を説明できる。 5) 研究計画書を作成できる。 6) データの収集・分析ができる。 7) 研究成果をまとめ、中間報告会で発表できる。 8) 学術論文作成の基礎を説明できる。</p>					
※ 本科目は、ディプロマ・ポリシーにおけるDP1、DP2、DP3の全ての到達を目標とする。						
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法
1 { 15		研究テーマの設定、文献調査、研究計画書の作成	研究テーマの設定と研究計画の作成に向けて、文献調査の方法、文献調査結果の要約、関連分野の研究情報の収集、などを修得する。次に研究倫理や行動規範をもとに研究計画書を作成し、研究倫理委員会を受審する。 [グループディスカッション][プレゼンテーション]			○
16 { 30		研究計画に基づくデータ収集・分析と修士論文作成の準備	研究計画に基づき、必要なデータの収集・分析を行うとともに、学術論文作成の基礎を学修する。中間報告会に向けて研究成果をまとめ、口頭発表を行う。 [グループディスカッション][プレゼンテーション]			○
キーワード		修士学位論文のテーマにより異なる		履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	特に指定しない。				
	参考書(任意購入)	指導教員による研究指導の中で随時紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		日頃の研究活動、中間報告会での発表等を総合的に評価する。				
授業時間外に必要な学修		指導教員の指示に従って実施する。				
学生へのメッセージ		修士学位論文は本研究科における学修、研究の集大成であり、その基礎を築くのが特別演習の目的です。優れた研究は、臨床現場の医療安全にとって有益であるだけでなく、皆さん自身のキャリア形成にもつながります。皆さんの努力を期待します。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。